

A portrait of actress Ikuyo Nakamichi. She has long, dark, wavy hair and is looking slightly to the side with a gentle expression. She is wearing a dark, textured dress with a sheer, dark shawl draped over her shoulders. Large, ornate gold earrings are visible. The background is dark and textured.

The
Ikuyo
Nakamichi *Road*
to
2027

仲道郁代

The Road to 2027
リサイタル・シリーズ

2027年と、その先へ

The Road to 2027 リサイタル・シリーズが始まり、5年が経ちました。

この旅路がスタートしたのは2018年でした。演奏活動30周年を迎え、次の10年をどう過ごすかを考えたとき、音楽家としての私を耕してくれるに違いない曲たちを厳選し、「春のシリーズ」と「秋のシリーズ」のふたつの流れのもとに計20のプログラムにまとめることにしました。

春のシリーズはベートーヴェンが核となり、ベートーヴェンのソナタの哲学的意味を他の作曲家と重ねて提示をするシリーズです。

そして秋のシリーズはピアノズムを追求するシリーズです。

それぞれのプログラムには、私が音楽の中に見出すことをタイトルとして冠しました。

2027年は、私の演奏活動40周年と、私が常に演奏活動の根幹に据えてきた作曲家であるベートーヴェンの没後200年とが重なる年です。その年へと向かう旅路の前半を終えた今、思うことがあります。

それは、それぞれのプログラムの意味が、そして演奏をするということの意味が、私自身にとって非常にリアルになったということです。

これまで私が音楽の中に見出していたものたち、神聖な宝のようなものたち、それは決して音楽の世界の中にだけあるのではなく、私たちの生きる日常の現実のなかに、意味を持つのだと確かに感じるようになりました。

今私たちが生きる世界は、5年前には誰も想像のつかなかった世界です。新型コロナウイルスの混乱、深刻化する自然災害、さまざまな社会問題……、今生きる世界の厳しさを、思い知らされてきました。そして2022年には、ロシアによるウクライナ侵攻という悪夢が始まりました。奇しくも2022年のプログラムでは、これまで弾いてこなかったムソルグスキーとラフマニノフを組み入れていました。春の演奏会の最後には「キエフの大きな門」の鐘の音を、秋の演奏会の最後にはラフマニノフの「鐘」を聴くことになったのです。鐘の響きの中に私は、お客様は何を聴こうとするのか。

演奏家とは社会と無縁なのではなく、社会の中に生きる存在であるということを感じた演奏会となりました。

そして2023年のプログラムを今この年に演奏するという意味も、私にとってはっきりとしたものとなっています。今の世界の閉塞感、その中に生きる人々の内面に光を当てる、そんなプログラムとなります。

音楽の中に見出す宝、その神聖な宝は愛にあふれているものです。それは今生きる私たちへのメッセージでもあるのです。

仲道 郁代

仲道郁代 The Road to 2027

リサイタル・シリーズ

全 プ ロ グ ラ ム



春
のシリーズ
秋
のシリーズ

劇場の世界

ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ
第19番 Op.49-1、第20番
Op.49-2、第18番 Op.31-3
シューマン：パピヨン Op.2、
謝肉祭 Op.9

2023

ブラームスの想念

ブラームス：7つの幻想曲 Op.116、
3つの間奏曲 Op.117、6つの小品
Op.118、4つの小品 Op.119

パッションと理性

モーツァルト：
ピアノ・ソナタ K.310
ベートーヴェン：
ピアノ・ソナタ第23番
「熱情」 Op.57
ブラームス：
ピアノ・ソナタ第3番 Op.5

2018

ショパン

～ブレイエルの響き～

ショパン：
バラード第1番 Op.23、
バラード第2番 Op.38、
バラード第3番 Op.47、
バラード第4番 Op.52、
24の前奏曲 Op.28

2019

悲哀の力

ベートーヴェン：
ピアノ・ソナタ第8番「悲愴」
Op.13
ブラームス：8つのピアノ小品
Op.76
シューベルト：ピアノ・ソナタ
第19番 D958

2020

シューマンの夢

シューマン：
アレグロ Op.8、幻想小曲集
Op.12、予言の鳥 Op.82-7、
ピアノ・ソナタ第1番 Op.11

2021

音楽における 十字架

ベートーヴェン：
ピアノ・ソナタ第22番 Op.54、第21番
「ワルトシュタイン」 Op.53
ショパン：2つのノクターン Op.48
シューマン：
ピアノ・ソナタ第3番 Op.14
2028年3月に延期（会場未定）

2022

ドビュッシーの 見たもの

ドビュッシー：前奏曲集 第1巻、映
像 第1集、映像 第2集、喜びの島



「The Road to 2027」からの
初のライブ・レコーディング

2023

音楽の哲学

ベートーヴェン：
ピアノ・ソナタ第30番
Op.109、第31番 Op.110、
第32番 Op.111
シェーンベルク：
6つの小さなピアノ曲 Op.19

2026

組曲～調和と心慮～

グリーグ：組曲「ホルベアの時代より」
Op.40
バッハ：パルティータ第1番
BWV825、第2番 BWV826、
イタリヤ協奏曲 BWV971
ラヴェル：クープランの墓

2027

幻想曲の系譜

～心が求めてやまぬもの～
モーツァルト：幻想曲 K.475
シューマン：幻想曲 Op.17
ベートーヴェン：
ピアノ・ソナタ第28番 Op.101
シューベルト：さすらい人幻想曲
D760 Op.15

2028

幻想曲の模様

～心のかげらの万華鏡～
ブラームス：2つのラプソディ
Op.79より第1番
シューマン：クライスレリアーナ Op.16
ショパン：幻想曲 Op.49
スクリャービン：12のエチュード
Op.8より第1番、第12番、
幻想曲 Op.28

令和3年度
文化庁芸術祭
「大賞」
受賞

生と死の揺らぎ

ショパン：
ピアノ・ソナタ第2番「葬送」 Op.35
ベートーヴェン：
ピアノ・ソナタ第29番
「ハンマークラヴィア」 Op.106

2029

変奏曲

～生の命題を編む～

モーツァルト：きらきら星変奏曲 K.265
シューマン：アベッグ変奏曲 Op.1
ラフマニノフ：
コレリリの主題による
変奏曲 Op.42
ベートーヴェン：創作主題による
32の変奏曲 WoO.80
ブラームス：
ヘンデルの主題による
変奏曲とフーガ Op.24

知の泉

ベートーヴェン：
ピアノ・ソナタ第17番「テンペスト」
Op.31-2
ショパン：バラード第1番 Op.23
リスト：ダンテを読んで S.161-7
ムソルグスキー：
組曲「展覧会の絵」

2030

前奏曲～永遠への兆し～

ドビュッシー：前奏曲集 第2巻
ラフマニノフ：前奏曲集 Op.23より、
第2番・第5番・第7番
前奏曲集 Op.32より、第2番・第5番・
第8番・第10番・第11番・第12番
前奏曲「鐘」 Op.3-2

2031

2032

2033

2034

2035

2036

2037

2038

2039

2040

2041

2042

2043

2044

2045

2046

2047

2048

2049

2050

2051

2052

2053

2054

2055

2056

2057

2058

2059

2060

2061

2062

2063

2064

2065

2066

2067

2068

2069

2070

2071

2072

2073

2074

2075

2076

2077

2078

2079

2080

2081

2082

2083

2084

2085

2086

2087

2088

2089

2090

2091

2092

2093

2094

2095

2096

2097

2098

2099

2100

2101

2102

2103

2104

2105

2106

2107

2108

2109

2110

2111

2112

2113

2114

2115

2116

2117

2118

2119

2120

2121

2122

2123

2124

2125

2126

2127

2128

2129

2130

2131

2132

2133

2134

2135

2136

2137

2138

2139

2140

2141

2142

2143

2144

2145

2146

2147

2148

2149

2150

2151

2152

2153

2154

2155

2156

2157

2158

2159

2160

2161

2162

2163

2164

2165

2166

2167

2168

2169

2170

2171

2172

2173

2174

2175

2176

2177

2178

2179

2180

2181

2182

2183

2184

2185

2186

2187

2188

2189

2190

2191

2192

2193

2194

2195

2196

2197

2198

2199

2200

2201

2202

2203

2204

2205

2206

2207

2208

2209

2210

2211

2212

2213

2214

2215

2216

2217

2218

2219

2220

2221

2222

2223

2224

2225

2226

2227

2228

2229

2230

2231

2232

2233

2234

2235

2236

2237

2238

2239

2240

2241

2242

2243

2244

2245

2246

2247

2248

2249

2250

2251

2252

2253

2254

2255

2256

2257

2258

2259

2260

2261

2262

2263

2264

2265

2266

春のシリーズ

音楽を哲学的に探求するシリーズです。
ベートーヴェンのピアノ・ソナタを
核に据え、ベートーヴェン以前・以後の
作品とともに各回のテーマに迫ります。



「幻想曲の系譜～心が求めてやまぬもの～」2021年5月30日 サントリーホール
©N.Ikegami

2023年 劇場の世界



2023年5月13日(土) 14:00
アクトシティ浜松 中ホール

問合せ: 浜松市文化振興財団 053-451-1114

2023年5月21日(日) 14:00
兵庫県立芸術文化センター
KOBELCO 大ホール

問合せ: 芸術文化センターチケットオフィス 0798-68-0255

2023年6月3日(土) 14:00
サントリーホール

問合せ: ジャパン・アーツ ぴあ 0570-00-1212

曲目
ベートーヴェン: ピアノ・ソナタ第19番 Op. 49-1
ベートーヴェン: ピアノ・ソナタ第20番 Op. 49-2
ベートーヴェン: ピアノ・ソナタ第18番 Op. 31-3
シューマン: パピヨン Op. 2
シューマン: 謝肉祭 Op. 9

2024年 夢は何処へ

曲目
ベートーヴェン:
ピアノ・ソナタ第27番 Op. 90

ベートーヴェン:
ピアノ・ソナタ第13番 Op. 27-1

ベートーヴェン:
ピアノ・ソナタ第14番「月光」Op. 27-2

シューベルト:
ピアノ・ソナタ第18番「幻想」D894 Op. 78

2024年5月11日(土)
アクトシティ浜松 中ホール

2024年5月19日(日)
兵庫県立芸術文化センター
KOBELCO 大ホール

2024年6月2日(日)
サントリーホール



「知の泉」2022年5月29日 サントリーホール
©N.Ikegami

「The Road to 2027」のプログラムを見て驚いた。毎회가考え抜かれた組み立てで、しかも仲道さん自身によってテーマが掲げられている。このテーマの下でこの曲が演奏されるのなら、哲学をやってきた私にも語ってみたいことが山ほどある！ 何しろベートーヴェンは、音で哲学しちやった人なのだから。かくして毎年私も慶應義塾大学文学部に仲道さんをお招きし、その年のテーマに合わせたお話を伺いながら一緒に議論させていただく至福の時を過ごすこととなった。真摯にしていたゆめめ探求心に裏打ちされてますます奥行きと深みを増す仲道さんのベートーヴェンは、毎回新たな発見にうち満ちている。

斎藤慶典 (哲学者・慶應義塾大学名誉教授)

秋のシリーズ

ピアノという楽器を味わい尽くす
プログラムが並びます。
より限定された“親密な”空間で、
ピアノの表現の多彩さ、細やかさを
味わっていただくシリーズです。

2023年 ブラームスの想念



曲目
ブラームス: 7つの幻想曲 Op. 116
ブラームス: 3つの間奏曲 Op. 117
ブラームス: 6つの小品 Op. 118
ブラームス: 4つの小品 Op. 119

2023年9月16日(土)
サントミューゼ 小ホール

問合せ: 上田市交流文化芸術センター 0268-27-2000

2023年9月17日(日)
長岡リリックホール
コンサートホール

問合せ: 長岡市芸術文化振興財団 0258-29-7715

2023年10月15日(日)
アクトシティ浜松 中ホール

問合せ: 浜松市文化振興財団 053-451-1114

2023年10月22日(日)
東京文化会館 小ホール

問合せ: ジャパン・アーツ ぴあ 0570-00-1212



「前奏曲～永遠への兆し～」
2022年10月29日 東京文化会館小ホール
©Tomoko Hidaki



「幻想曲の模様～心のかげらの万華鏡～」2021年10月23日 東京文化会館小ホール
©N.Ikegami

2021年 秋のシリーズ
「幻想曲の模様～心のかげらの万華鏡～」が
令和3年度文化庁芸術祭「大賞」
を受賞しました

受賞理由
「仲道郁代ピアノ・リサイタル 幻想曲の模様」では、ブラームス、シューマン、ショパン、スクリャービンの作品が並べられ、仲道が、それぞれの作曲家の幻想へ深く思いを馳せた、ロマンティックで濃密な演奏を繰り広げた。最後のスクリャービンではスケールの大きさやヴィルトゥオジティも披露。大賞に値するきわめて充実したリサイタルであった。

「実体のあるものも、ないものも音に変換されてそこにあるかのように立ち昇る……」、と仲道郁代さんはドビュッシーの本質を語っています。その演奏は、言葉通りに、作曲家が音に込めた微細な気配までも見事に映し出していました。音楽へのこの深い感応力が、ショパンやシューマンの魂の哀しみに、シューベルトやブラームスの真摯なひたむきさに、スクリャービンの色彩にみちた神秘に、ラフマニノフの抒情の劇性に、ラヴェルの粋な佇まいの裏に隠された真実に……光を当ててくれることでしょう。

松橋麻利 (音楽学者・ドビュッシー研究家)

仲道郁代の言葉

The Road to 2027のプログラムに寄せた
仲道の言葉から、抜粋をご紹介します。

パッションと理性

相容れない二つの概念の狭間。
そこには自らのあり方を、レゾナードルを
探る作曲家の姿が見えてくる。
そんな問いを放ち、音の向こう側に
聴こえてくる感覚に身を委ねる。

悲哀の力

悲しみと哀しみ。
この二つの言葉が重なったとき、
実は、密やかな、ささやかな抵抗の力を
感じるのだ。悲哀の中から立ち上がる力と
いうものが、そこには必ず潜んでいる。

ドビュッシーの見たもの

音は空気に溶けている
音の分子は空気の形を造りだす
音の分子の連なりは、光を生み、
躍動する
現在、過去、未来も自在に越えさせてくれる
変化自在な具象と抽象
変化自在な現実と幻想
それらが音のプリズムになって香りたつ
その音のプリズムに溶けてみたい

幻想曲の系譜 — 心が求めてやまぬもの

幻想曲——それは即興的な想念の連なり。
求めてやまない想いを音に記してきた
作曲家たちの系譜が、そこには見えてくる。
ままならない想いに心がざわつき、
それでも夢を見る、見ようとする。
そこに共通するのは、生きることの煌めき。

幻想曲の模様 — 心のかけらの万華鏡

憧れ、希求する心は、壊れたかけらのように
さまざまな様相を持っている。
それらが、幻想という即興的な想いの
膨らみとなったとき、
それぞれの作曲家へふり降り、
心の傷を包み込んだ音とは
どのようなものであったのか。
ただただ、音に耳を傾けてみたいと思う。

知の泉

作曲家がその音楽でもって
立ち昇らせる概念。
その音が満ちていく様は、
「知の泉」ともいえるものだ。
音の渦の中に、生への定義が聴こえてくる。

前奏曲 — 永遠への兆し

プレリュードとは何のための前奏なのだろう。
前奏曲が「生きている感覚」なのだとしたら、
その次に来るものとは……。
プログラムの最後に鳴り響く“鐘”の音のなかに
私は、あなたは、何を聴くのだろう。

劇場の世界

人生はままならないものだ。
だから劇になぞらえられる。
そのドラマの中に私たちは、
私たち自身をも見つけることが
できるかもしれない。
そしてこのままならない人生が、
愛しく思えてくるに違いない。



仲道郁代とベートーヴェン

仲道郁代はこれまで6度にわたるベートーヴェン全曲チクルスを実施しており、自身の音楽の核には
つねにベートーヴェンがあると語っている。「The Road to 2027 リサイタル・シリーズ」の【春のシ
リーズ】のほか、2027年シーズンを目指して横浜みなとみらいホール、京都コンサートホールでのソ
ナタの全曲演奏会や、サラマンカホールでの室内楽とソロを組み合わせたコンサートシリーズを実施。
またピアノを含む室内楽全曲を網羅する意欲的なシリーズもヤマハホールでスタートした。近年はオ
リジナル楽器での研究の成果も際立っており、新しいベートーヴェン像が確立されている。2022年12
月にはブダペストのリスト音楽院にてハンガリー国立フィルとの共演でベートーヴェンの協奏曲「皇
帝」を披露（写真）。陰影を伴う新しい「皇帝」像が打ち出され話題となった。

仲道郁代 ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ全曲演奏会	
横浜みなとみらいホール 2023年4月8日（土） 第4回〈悲愴～はるかなる憧れ〉 2024年11月24日（日） 第5回〈熱情～パッションと絶望の間〉 問合せ：神奈川芸術協会 045-453-5080	京都コンサートホール 小ホール 2023年7月2日（日）第2回〈前に進む〉 2024年6月22日（土）第3回〈夢を見る〉 問合せ：otonowa 075-252-8255
仲道郁代 ベートーヴェン“ピアノ室内楽”全曲演奏会	仲道郁代 ベートーヴェンの宇宙
ヤマハホール 2023年4月26日（水） Vol. 2 問合せ：ヤマハ銀座店インフォメーション 03-3572-3171	サラマンカホール 2023年11月11日（土）第2回「乗り越えるべき運命」 問合せ：サラマンカホールチケットセンター 058-277-1110

仲道郁代 PROFILE

日本で最も求められ続けているピアニストの一人。
音楽から神聖さ、親密さを見出してパーソナルなピアノの音として立ち上らせる独特の演奏スタイルは多くの共感を得ている。

仲道はデビュー以来35年以上にわたって常に高い人気を保ち続けている稀有な存在である。日本では全国各地で彼女のコンサートを望む声を受け続け、延べ2500回を超えるリサイタルを実施してきた。十代の頃にアメリカ・ミシガン州に住み、またミュンヘンで学んだことが彼女の音楽観に深い影響を与えているが、細やかさや繊細さ、他者との深い共感性を同時に持ち合わせているところが、彼女のピアノの魅力の一つとなっている。

令和3年度文化庁長官表彰、ならびに文化庁芸術祭「大賞」を受賞。ジュネーヴ国際音楽コンクール最高位、メンデルスゾーン・コンクール第1位メンデルスゾーン賞、エリザベート王妃国際音楽コンクール第5位ほか、受賞歴多数。一般社団法人音楽がヒラク未来代表理事、一般財団法人地域創造理事、桐朋学園大学教授、大阪音楽大学 特任教授。



仲道郁代 Official YouTube Channel



The Road to 2027の関連動画をはじめ、仲道の各種動画を配信中。是非ご覧ください。

The Road to 2027の関連動画

2020年 秋のシリーズ

「ドビュッシーの見たもの」



2022年 春のシリーズ

「知の泉」(アナリーゼ)



2021年 春のシリーズ

「幻想曲の系譜～心が求めてやまぬもの」



2022年 春のシリーズ

「知の泉」ムソルグスキー《展覧会の絵》より《キエフの大きな門》



2021年 秋のシリーズ

「幻想曲の模様～心のかげらの万華鏡」(対談)



2022年 秋のシリーズ

「前奏曲～永遠への兆し」(鼎談)



仲道郁代の名盤 @RCA RED SEAL

Sony Music Japan International



ドビュッシーが心に投影した理想の響きがここに。



ドビュッシーの見たもの
前奏曲集I・映像I/II・
喜びの島

ハイブリッドディスク

● SICC 19053 ¥3,300(税込)

最新録音

仲道郁代が辿る、深遠かつ
多様なベートーヴェンの音世界。



仲道郁代ベートーヴェン集成
～ピアノ・ソナタ&協奏曲全集

12CD+3ハイブリッドディスク+2DVD

● SICC 39032~48 ¥19,800(税込)

17枚組 | 完全生産限定

仲道の「音楽の故郷」、
シューマンへの帰還。



シューマン:
ファンタジー

ハイブリッドディスク

● SICC 19008 ¥3,300(税込)



ショパン:ワルツ

CD ● SICC 40084

¥1,760(税込)

[ベスト・クラシック100種]



celeste
仲道郁代愛奏曲集

録音:1989~2005年

CD ● BVCC 34162

¥2,640(税込)



永遠のショパン

録音:2015年他

CD+DVD

● SICC 9002~3

¥3,056(税込)